



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3059 URL http://company.hiraki.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078) 967-4601  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	13,698	0.3	557	7.3	511	17.2	314	16.2
27年3月期第3四半期	13,653	△9.5	519	△23.3	436	△38.9	270	△32.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 151百万円(△70.9%) 27年3月期第3四半期 521百万円(138.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	64 58	—
27年3月期第3四半期	55 44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	17,815	4,936	27.7
27年3月期	17,716	4,882	27.6

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 4,936百万円 27年3月期 4,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
28年3月期	—	10 00	—		
28年3月期(予想)				10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	6.7	650	10.5	550	11.2	300	33.5	61 59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項、(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	5,155,600株	27年3月期	5,155,600株
28年3月期3Q	284,630株	27年3月期	284,630株
28年3月期3Q	4,870,970株	27年3月期3Q	4,880,970株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策等を背景に、雇用環境や一部の企業収益に改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調にあるものの、新興国経済の減速懸念をはじめ、輸入原材料の高騰や個人消費の伸び悩み等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、強みである「靴」を中心とした「商品力の強化」、そして「商品力」を売上へとつなげる「現場力の強化」に継続して取り組み、事業展開を進めてまいりました。

「商品力の強化」につきましては、引き続き海外において新規工場の開拓および育成に取り組んでおります。また「現場力の強化」としましては、当社の認知度向上を目指して広告宣伝を強化するとともに伸長著しいスマートフォン向けのサイトをリニューアルするなどWEBへの対応を、そしてお客様意見の活用によるサービス改善体制を構築しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は136億9千8百万円(前年同四半期比0.3%増)と増収となりました。利益面につきましては、当第3四半期連結累計期間における営業利益は5億5千7百万円(前年同四半期比7.3%増)と増益となりました。経常利益は、為替差益などの影響から5億1千1百万円(前年同四半期比17.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億1千4百万円(前年同四半期比16.2%増)と増益となりました。

当社グループの報告セグメントの当第3四半期連結累計期間における業績は次のとおりであります。

#### ① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、9月に当社で最も顧客構成比の高い関東圏向けに、10月には更に地方18県にテレビCM放映エリアを拡大するとともに無料設置カタログ・チラシ配布等メディアミックスを採用することにより認知度が向上し、WEB経由、特にスマートフォンからの受注が増加しましたが、11月以降暖冬の影響による冬物季節商品の落込み等により、売上高は68億6千5百万円(前年同四半期比2.2%減)となりました。利益面では、広告宣伝活動における効果的な媒体への絞り込み、さらに物流業務の効率化に引き続き取り組みましたが、売上高の減少により、セグメント利益(営業利益)は6億7千4百万円(前年同四半期比16.1%減)と減収減益の結果となりました。

#### ② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、「日本最大級の靴売場」「圧倒的な地域一番店の靴売場」を旗印に、靴を中心としたバラエティ・ディスカウント・ストアとしての存在感を発揮すべく新規仕入先の開拓により、品揃えの充実を図り集客力の向上に取り組みましたが、暖冬の影響による冬物季節商品の落込み等により、売上高は63億2千万円(前年同四半期比0.9%減)となりました。利益面では、「仕入先施策の強化」および「自社開発商品(PB商品)の拡販」などにより粗利益率の確保、作業効率化による更なる人件費および経費の削減により、セグメント利益(営業利益)は1億5百万円(前年同四半期比574.4%増)と増益の結果となり、収益力は引き続き改善しております。

#### ③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、大口OEM販売については、主に新規取引先との取引の本格始動および既存取引先からの受注増により、売上高は5億1千2百万円(前年同四半期比100.5%増)、セグメント利益(営業利益)は7千5百万円(前年同四半期比499.2%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

## ① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、2億7千8百万円増加し、109億9千8百万円となりました。これは、現金及び預金が17億8千8百万円増加し、商品が9億4千1百万円、受取手形及び売掛金が3億3千6百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、1億7千9百万円減少し、68億1千6百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億7千万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、9千8百万円増加し、178億1千5百万円となりました。

## ② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、1億6千7百万円減少し、45億5百万円となりました。これは、未払法人税等が1億2千4百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億1千1百万円増加し、83億7千3百万円となりました。これは、長期借入金が2億1百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、4千4百万円増加し、128億7千8百万円となりました。

## ③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、5千4百万円増加し、49億3千6百万円となりました。これは、繰延ヘッジ損益が1億5千2百万円減少、利益剰余金が2億1千7百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント増加し27.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ3億8千8百万円増加し、31億9千4百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、18億4千7百万円(前年同四半期は5億3千4百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億7千万円の計上、売上債権3億3千6百万円の減少、たな卸資産9億3千6百万円の減少、仕入債務8千万円の増加、法人税等の支払額2億2千6百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、14億7千7百万円(前年同四半期は14億4千4百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出31億円、定期預金の払戻による収入17億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1千9百万円(前年同四半期は4億9千万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入21億円、長期借入金の返済による支出19億3千6百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、平成27年11月6日の決算短信にて発表しました平成28年3月期の業績予想を検討した結果、当該四半期において平成28年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,508,263	6,297,259
受取手形及び売掛金	1,107,620	770,824
商品	4,569,621	3,628,367
未着商品	78,674	83,714
貯蔵品	15,285	14,925
繰延税金資産	19,400	60,983
その他	436,271	153,252
貸倒引当金	△15,208	△11,090
流動資産合計	10,719,928	10,998,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,289,135	3,118,552
土地	3,210,953	3,157,566
その他(純額)	230,433	248,704
有形固定資産合計	6,730,522	6,524,823
無形固定資産	79,661	123,169
投資その他の資産	186,522	168,936
固定資産合計	6,996,706	6,816,929
資産合計	17,716,634	17,815,168
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	893,153	973,203
1年内返済予定の長期借入金	2,486,209	2,448,813
未払法人税等	159,220	34,364
賞与引当金	140,314	78,492
役員賞与引当金	-	4,625
ポイント引当金	29,332	31,359
その他	964,662	934,168
流動負債合計	4,672,893	4,505,026
固定負債		
長期借入金	7,707,080	7,908,212
退職給付に係る負債	121,072	129,812
環境対策引当金	13,568	13,568
資産除去債務	30,927	31,348
その他	288,581	290,223
固定負債合計	8,161,229	8,373,165
負債合計	12,834,123	12,878,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	3,179,286	3,396,431
自己株式	△151,003	△151,003
株主資本合計	4,627,725	4,844,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,446	12,059
繰延ヘッジ損益	210,675	58,052
為替換算調整勘定	22,663	21,994
その他の包括利益累計額合計	254,785	92,106
純資産合計	4,882,511	4,936,976
負債純資産合計	17,716,634	17,815,168



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	13,653,164	13,698,246
売上原価	7,761,059	7,834,217
売上総利益	5,892,105	5,864,029
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,630,727	1,705,079
貸倒引当金繰入額	4,604	10,292
ポイント引当金繰入額	28,867	38,838
給料手当及び賞与	1,545,822	1,491,025
賞与引当金繰入額	83,388	78,492
その他	2,079,262	1,983,040
販売費及び一般管理費合計	5,372,672	5,306,768
営業利益	519,432	557,260
営業外収益		
受取利息	4,986	5,508
受取配当金	1,360	1,252
為替差益	13,217	22,810
その他	28,757	22,872
営業外収益合計	48,321	52,443
営業外費用		
支払利息	89,817	83,613
その他	41,435	14,597
営業外費用合計	131,253	98,210
経常利益	436,501	511,493
特別損失		
減損損失	-	40,770
特別損失合計	-	40,770
税金等調整前四半期純利益	436,501	470,723
法人税、住民税及び事業税	111,171	102,850
法人税等調整額	54,718	53,308
法人税等合計	165,890	156,159
四半期純利益	270,611	314,564
親会社株主に帰属する四半期純利益	270,611	314,564

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	270,611	314,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,472	△9,386
繰延ヘッジ損益	244,072	△152,623
為替換算調整勘定	542	△668
その他の包括利益合計	251,087	△162,679
四半期包括利益	521,699	151,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	521,699	151,884
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	436,501	470,723
減価償却費	234,038	230,126
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,753	△4,121
賞与引当金の増減額(△は減少)	△71,311	△61,822
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,275	4,625
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△5,025	2,027
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,747	8,740
受取利息及び受取配当金	△6,346	△6,760
支払利息	89,817	83,613
為替差損益(△は益)	-	△22
減損損失	-	40,770
売上債権の増減額(△は増加)	499,072	336,492
たな卸資産の増減額(△は増加)	△253,055	936,573
仕入債務の増減額(△は減少)	△61,990	80,746
その他	15,024	28,411
小計	882,993	2,150,121
利息及び配当金の受取額	6,301	7,198
利息の支払額	△90,123	△83,565
法人税等の支払額	△265,112	△226,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	534,058	1,847,029
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,900,900	△3,100,900
定期預金の払戻による収入	1,500,000	1,700,000
有形固定資産の取得による支出	△36,058	△114,002
有形固定資産の売却による収入	730	84,146
無形固定資産の取得による支出	△6,135	△44,873
投資有価証券の取得による支出	△2,275	△2,210
その他	242	348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,444,396	△1,477,491
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,700,000	2,100,000
長期借入金の返済による支出	△2,072,102	△1,936,263
配当金の支払額	△97,173	△97,631
その他	△39,731	△46,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	490,992	19,335
現金及び現金同等物に係る換算差額	576	△777
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△418,768	388,095
現金及び現金同等物の期首残高	2,849,262	2,806,363
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,430,493	3,194,459

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I. 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,022,164	6,375,155	255,844	13,653,164	—	13,653,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,022,164	6,375,155	255,844	13,653,164	—	13,653,164
セグメント利益	803,297	15,696	12,547	831,540	△312,108	519,432

(注) 1 セグメント利益の調整額△312,108千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II. 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,865,015	6,320,322	512,908	13,698,246	—	13,698,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,865,015	6,320,322	512,908	13,698,246	—	13,698,246
セグメント利益	674,331	105,851	75,186	855,370	△298,109	557,260

(注) 1 セグメント利益の調整額△298,109千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントに配分していない遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減損いたしました。当該減損損失の計上額は、40,770千円です。